

第2回 小郡高校・三井高校の生徒との意見交換会



【小郡高校】



【三井高校】



【小郡高校】



【三井高校】

2日間で54名が参加 まちづくりや将来の進路について議員と意見交換

小郡市議会は、昨年引き続き市内にある小郡高校、三井高校の生徒との意見交換会を行いました。7月28日に小郡高校29名、8月1日に三井高校25名の参加があり、議場で議会の現状説明の後、3つのグループに分かれ、「もっと良い街にしていきたいためにはどうすればよいか」「将来について、今あなたが不安に思っていること」の2つのテーマで意見交換を行いました。

街灯設置や道路整備で安全安心を

昨年と同様、通学路が暗いので街灯をつけてほしいという意見やガタガタ道を補修してほしいという意見が多数出されました。これに対し、議員からは、現在小郡市が計画的に取り組んでいる街灯設置の状況や道路整備計画の説明がありました。また、高校生に対しみんなで要望をまとめて市に提出してはどうかとのアドバイスも行われました。

進学の経済的負担が重荷

多くの高校生から将来に対する不安として、進学にかかる経済的負担の重さが出されました。特にひとり親家庭は所得も低く生活していくのがやっとなりで、大学に進学したいけれど大丈夫だろうかと思悩む姿がありました。これに対し、議員から、奨学金はいろんなタイプのものが出始めているのであきらめないで、しっかり相談したり調べたりしてほしいという意見が出されました。

小郡高校・三井高校の生徒からの意見

もっと良い街にするには

- 安全で安心できる街のために街灯や標識、ミラーをもっと設置してほしいです。
- 音の出る信号機の設置やバリアフリー化を進めるとともに歩道を増やしてほしいです。
- 若者が少ないため大学や専門学校の誘致をして学生を増やしてほしい。また子どもが沢山いる街にしてほしいです。
- 高齢者のためのスロープや多目的トイレの設置、移動販売車などによる買い物ができる機会を増やしてほしい。また健康づくりやコミュニケーションづくりができる施設の充実をしてほしいです。
- 小郡市は災害が少ないため防災意識が低いので防災意識を高めるとともに災害への備えや配慮をしてほしいです。

- **議員より**…防犯灯を今後さらに整備していくとともに防犯カメラの設置も推進しています。高齢者が住みやすい街については、買い物弱者の方のための方策としてコミュニティバスの運行や一部では自治会バスが運営されています。健康づくりについては、今後も充実を図るため健康体操の普及や健康運動リーダーの増員・育成を推進しています。小郡市は防災意識を高めるため防災無線の設置や行政区単位で自主防災組織を作っており、また各防災倉庫には資機材を置き、集中備蓄としては水・アルファ米などを基山町にある倉庫に確保していますが、特に各家庭での家庭内備蓄についてもお願いしています。

今あなたが不安なこと

- 少子高齢化が進み税金を払う人が減少し高齢者を介護する若手がいなくなることが不安です。
- 社会保障（子育て支援など）への税金の使い道がよく分からないなか税額がアップされることが不安です。
- 地元就職先が少なく市外への流出により人口が減少し過疎化が進行することが不安です。
- 機械化が進み人手が無くなる可能性があり将来仕事なくなるのではと不安です。
- ひとり親家庭の環境の厳しさなど貧困家庭が増加していることが不安です。

- **議員より**…貧困家庭への支援の充実や奨学金制度については、小郡市だけでは解決できない問題がたくさんあり、国へ制度の創設など議会からも意見書などを提出しています。

意見交換会に参加し政治に対する意識について

- 議員さんと沢山会話ができて政治に興味をわき、自分たちが政治にどの様に参加していくのか考えるきっかけになりました。
- 今回2回目の参加ですが自分が疑問に思っていたこと、要望を直接言うことができ大きな経験をさせてもらい政治について意識が変わりました。
- 難しいと思っていた政治に参加することで理解し議員さんと楽しい意見交換をすることができ、機会があればまた参加して、色々なことを聞いてみたいと思いました。
- 身近にあることも政治に関わっている事を知り、自分の意見とは違う意見を多数聞くことができ、また考えを深めることもできました。まだ参加していない人にも参加してもらいたいと思いました。
- あまり政治に興味がありませんでしたが、今回自分の体験したことのない内容の濃い意見を沢山聞けて選挙にも自主的に参加したいと思いました。
- 政治については遠い存在だという想いを抱いていましたが、今回身近に考えることができ政治に関するニュース等を見てみようと思いました。